

公表: 令和3年2月22日

事業所名 チャレンジャー(令和2年4月開所)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	5	0	1	0	部屋を仕切り、活動部 屋、宿題部屋を分け ている。	古い日本家屋の為にトイレが 一つ(男性用、様式が同じ 部屋にある)扉をつける等 工夫を検討している。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	0	子どもの人数に応じて。 利用者が男子が多 く男性スタッフも配 置している。	子どもの数に応じて職員を 配置、支援に必要な資格保 持者を探すようにしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	0	1	5	0		保護者の意見、本人の様 子を見て、必要であれば検 討。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	1	1		評価表に沿って業務を改善 していく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	4	1	0	1	活動内容についての アンケートを取り。活 動の工夫を行っている。	評価、アンケートの継続。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	3	1	2	0		昨年開所した施設の為今 年が度が初めて、公開は継 続していく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	0	2	4	0	第三者委員会を発 足、年度内に委員を 招集予定。	毎年委員を招集しご意見 を頂く予定。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	5	1	0	0	月1回のスタッフミー ティング、市内放課後 デ이의自主研修会へ の参加	自主的に参加したい研修に 参加してもらおうよう人員の配 置を行う。自主研修会の企 画。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画(個別支援計画)を作成して いるか	6	0	0	0	個別支援計画作成前 にアセスメントを作成 している。	アセスメントの継続
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	1	アセスメント表から児 童それぞれの課題を 見つけている。	スタッフミーティングを行い 意見を出し合いアセスメント を作成している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	0	職員それぞれの得意 分野を活動に活かし ている。他の職員が 補助している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	6	0	0	0		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	4	0	1	1	平日と長期休暇でプ ログラムを変えてい る。	課題(目的ある)に応じた支 援をしていく。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 (個別支援計画)を作成しているか	2	3	0	1		今年度は集団活動に力を 入れてきた。今後は個別活 動も検討していきたい。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	0	その日勤務の職員全員で午後ミーティングをしている。	休みの職員の為に記録に残す。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	1	勤務時間が違うため全員は難しいが最後に残った職員間でその日気になったことの振り返りをしている。	話し合ったことを記録に残し、不在の職員にもわかるようにする。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	0	他の職員にも子どもの様子を聞きながら記録を入力している。	
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	2	0	2		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2	0	1	ほぼできているが、急な学校の変更が伝わっていないことがある。	月のスケジュールを保護者からコピーさせてもらう等して急な変更がないようにあらかじめ情報を得ておく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	2	0		現在該当者はいないが、利用の際は児童発達支援センターや相談員が医療に関する情報を得る体制を取っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	2	1	利用開始から様子が気になる児童については保護者了解の下連絡を取っている。	これからは相談員を通して、児童発達支援センター等との移行会議に参加していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	3	0		該当者はいないが、将来はしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	1	児童発達支援センターへ講師の依頼をし他の放課後デイと共同で研修会を開催	研修については市内放課後デイが集まり共同で行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	0	5	0		コロナ終息後は長期休暇を利用して行いたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	0	0	子ども部会に毎回参加している。	子ども部会付属組織として放課後等デイワーキンググループを結成、情報の共有と研修会を行っている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	0		保護者からもっと相談してもらえるよう関係作りに努めていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	3	2	1	日頃の様子は保護者に口頭で伝えている。	事業所のできるペアレントトレーニングについて検討していく。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	3	0	0		利用者負担等お金に関することは丁寧に説明していきたい。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3	0	0	相談があれば早めに対応している。	事業所内で話し合うとともに必要な時は相談員にも助言をもらう。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	1	0	コロナ状況下ではあるが、保護者同士話をする機会が少ない為、今年度1回開催	保護者の子育ての孤立を防ぐ為、保護者同士の集まりは大切、継続していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	1	0	ご家族から詳しく話を伺い、相談員にも報告している。	今後は苦情対応マニュアルを作り、書式化し書面に残す。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	0	毎月通信を発行し保護者に配布、玄関に掲示している。	今後も毎月通信を発行
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	0		
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	1	0	保護者、学校の先生から意思疎通の仕方を聞いている。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	4	0	コロナの為自粛している。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	3	0	感染症マニュアルは厚生センターを訪問しアドバイスもらいながら作成している。	防犯マニュアル、緊急時対応マニュアル作成
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				今年度1回開催	来年度から2回/年開催
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	2	3	0	2月管理者が虐待、権利擁護の県の研修会に参加し職員向けに研修を行う予定。	令和2年4月開所の為研修参加は初めて
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	2	4	0	2月管理者が虐待、権利擁護の県の研修会に参加し職員向けに研修を行う予定。	令和2年4月開所の為研修参加は初めて
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	2	0	保護者に確認している。今のところ該当者なし。	アレルギーの児童が利用する場合は医師の指示あるいは保護者から聞いて対応していく予定。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	1	0	ファイルを作っている。状況確認と改善に向けて職員でミーティングをしている。	なるべく小さな事柄も書留め、検証し今後の支援に活かしていく。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。